

苫小牧市立清水小学校学校便り

# 清水の子



『未来を創造する  
清水の子の育成』

- ◇学びを広げる子
- ◇思いやりあふれる子
- ◇たくましさみなぎる子

TEL 33-7285

Eメール simizu-es1@hokkaido.school.ed.jp

第 6 号 平成 3 0 年 11 月 27 日発行

## アウトメディアと親子読書の深いかかわり

校長 松井 操人

つい先日、白老町で行われた「胆振管内アウトメディアフォーラム」に参加してきました。かねてより指摘されていたことではありますが、

**家庭でのゲーム（電子メディア媒体）使用時間が北海道の小学生は全国トップレベル**

**家庭でのスマホ使用時間が北海道の小中学生は全国トップレベル**

（平成 30 年度全国学力学習状況調査結果より）

という状況であることが改めて紹介されていました。「トップレベル」と言ってもそれは良い意味ではなく、「使用時間が長い」という意味であるのはご承知のことと思います。このことが子どもにどのような影響があるのかということ、同調査によると「家庭学習時間」「家庭での読書時間」「家庭での運動時間」が北海道はすべて全国平均以下（小学生）となっていることが明らかになっています。また、小児科医は子どもの「視力への影響」を問題視しています。

### 電子メディアによる子どもの「脳への影響」

フォーラムでは触れられていませんでしたが、東北大学の川島隆太教授は、スマホやゲームの使用が子どもの脳へどのように影響するかを継続して調べています。わかってきたことは、

- 1 **LINE や SNS 使用時の脳細胞は、テレビを見ているときと同じような「非活性化状態」**
- 2 **脳が発達する小学校高学年から中学生にかけての非活性化状態は、「脳の発達に悪影響」**
- 3 **電子メディアとの接触時間と学習内容の定着に関わる「負の相関関係」**
- 4 **ただし、一日 1 時間以内の使用だと影響は少ない**

脳、中でも「前頭前野」を活性化させる最良の方策は次の二つだと教授は言います。

### ①読書の力 ②親子コミュニケーションの力

親子読書による、本を話題にしたコミュニケーションによって、前頭前野が最大限に活性化しそうです。親子読書は子どもの脳の発達を促すツールにもなるかもしれませんね。

#### 親子読書 私のお薦め(高学年向き)

親子で同じ本を読んで、感想を交流しましょう。疑問点が解けてスッキリすることも。

##### 『風と木の歌』

安房直子:作 偕成社

20 年ほど前の中 1 国語の教科書に掲載されていた「鳥」という話が収められています。思い出した方はぜひ！

##### 『ジュニア空想科学読本 1~14』

柳田理科雄:作 角川書店

「タケコプターがあったら本当に空を飛べますか」など、アニメの空想場面をまじめに検証。おとなも楽しめます。

##### 『かがみの孤城』

辻村深月:作 ポプラ社

堂々の 554 ページ。上級者向き。子どもが読んでいたら保護者も挑戦。読み終えたらきっと感想を交流したくなります。